

若手フロンティア研究会2007

研究基盤センターアイソトープ部門・機器分析部門・極低温部門の各部門における利用者の専門分野は、物理・化学・生物、生命科学、地球惑星科学からナノ工学に至るまで自然科学系のあらゆる分野に渡っています。このような多岐に渡る分野で研究する若手研究者が自由に意見交換を行い異なる分野間での交流を深めることを目的とした若手フロンティア研究会を以下の要領で開催しました。センター利用者以外の方々も多数ご参加いただき、大学院生の積極的な研究発表が行われ、活発な討論、研究交流がなされました。また、発表概要集を若手フロンティア研究会2007概要集として印刷製本し、18日の研究会当日に発刊しました。

日時：平成19年12月18日（火）午後1時30分～午後4時30分

場所：神大会館2Fホワイエ

プログラム：

ポスターセッション

懇談会

表彰：最優秀ポスター賞1件、優秀ポスター賞3件(各部門)について表彰

66件のポスター発表が行われ、参加者数168名で活発な意見交換、研究交流がなされました。そして、懇談会と表彰が行われ、以下の発表ポスターが受賞しました。

* 最優秀ポスター賞

植物性食品成分であるフラボノイドがダイオキシン受容体に及ぼす影響
自然科学研究科 博士後期課程 生命機構科学専攻 向井理恵

* 優秀ポスター賞アイソトープ部門

果実特異的遺伝子発現機構の解析と果実を用いたタンパク質発現システムの開発
自然科学研究科 博士前期課程 生物機能化学専攻 奥山慎也

* 優秀ポスター賞機器分析部門

ポリアニリン／白金担持カーボンコンポジットの調製
工学研究科 博士前期課程 応用化学専攻 宮地良和

* 優秀ポスター賞極低温部門

圧力下での重い電子系化合物 LiV_2O_4 の光学応答
自然科学研究科 博士前期課程 物理学専攻 島井幸太郎